

事例No.15			
事業名		担い手育成基盤整備事業 「長楽寺」地区	事例キーワード 希少種の保護、代替水域の確保
事業担当機関		仙北地域振興局仙北平野農村整備事務所	
事業期間		平成10年～14年	
実施場所		仙北郡太田町	
事業概要	全体事業費	803百万円	
	工事概要	区画整理工 A=47.4ha	
	事業の目的	将来の農業生産を担う経営体や担い手を育成し、必要となる生産基盤の整備及び生活環境の整備を一体的に実施することにより、優良農地を将来にわたり適切に維持・保全し、ひいては食料自給率の向上・農業の多面的機能の十分な発揮に資することを目的とする。	
環境配慮の内容	1. ほ場整備実施地域内に生息する希少種の現況調査を実施 (イバラトミヨ雄物型(秋田県レッドデータブック。ⅠA類)に配慮しながら事業実施) 2. 学識経験者等からなる「農業農村整備事業に係わる生態系保全対策検討協議会」で配慮内容・方法を検討 3. イバラトミヨ雄物型に配慮した保全池及び保全水路の設置 4. 保全池・保全水路の検証(モニタリング) ・設置した構造物の検証 ・保全池等の維持管理体制確立		
の施状況後	1. イバラトミヨ雄物型のみならず生息環境全体の保全を考慮した結果、希少種の保全に成功している。(保全池や新設された水路では、新たな営巣状況の確認も確認されている。) 2. 貴重な動植物の移植・移動、事業の回避等により、ほ場整備事業も順調に推移し、平成14年度事業完了している。		
図面、写真、説明			
			
イバラトミヨ雄物型		現況の生息域・生息数・生態等を生態系保全対策協議会委員の指導のもとで調査 施工前状況	
			
配慮方法・手法の決定		貴重な生物に配慮した工法の実施	
農業農村整備事業に関わる生態系保全対策協議会の様子			
			
配慮施設の完成		生態系に配慮された保全池・水路	